

## 令和3年度ウミガラス保護増殖事業 実施計画（案）

### 1. 飛来・繁殖調査

赤岩対崖巣棚内及び入口のカメラ設置や目視等により、飛来数、餌運び、雛及び巣立ち等の調査を実施する。近年、繁殖範囲が拡大していることから、カメラの撮影方向や画角等を工夫し、できる限り広い範囲の繁殖箇所の把握に努めるようにする。

#### (1) 赤岩対崖巣棚内及び入口のカメラ及び関連機器の設置・稼働

令和2年度のモニタリングデータを補正するため、巣棚内及び入口の両方にカメラを設置する(4月中)。また、巣棚入口カメラの映像解析時に飛来数・巣立ち雛数のカウントを簡易的に行うための手法（通過カウンターの併設を想定）についても試行する。

ただし、COVID-19 感染拡大防止のため、作業人員を最小限に絞らざるを得ないと判断された場合は、設置位置を安全に実施可能な範囲に変更するなど、臨機応変に対応する。

#### (2) 目視調査

その他随時、目視による調査を行う。

### 2. 環境整備

#### (1) 左側及び右側巣棚の計測

今後の更なる繁殖範囲拡大と環境整備に備え、左側及び右側巣棚の大きさを計測する。

ただし、COVID-19 感染拡大防止のため、作業人員を最小限に絞らざるを得ないと判断された場合は、今回の計測を見送るなど、臨機応変に対応する。

### 3. 誘引対策

#### (1) 音声装置の稼働

ウミガラスを誘引する音声装置を、赤岩基部に3月中に設置・稼働する。抱卵が開始される6月まで稼働させ、その後は巣棚内及び入口のモニタリングカメラより状況を確認する。

### 4. 捕食者対策

過年度に引き続き、オオセグロカモメ・ハシブトガラスの捕食者対策を実施する。

#### (1) 銃器（エアライフル）による捕獲

##### 1) 実施時期

5月から8月

##### 2) 実施範囲・捕獲上限数

###### a) オオセグロカモメ

ウミガラスに被害を及ぼす恐れのある赤岩対崖巣棚周辺の個体を捕獲する。ただし、近年のオオセグロカモメの繁殖状況を踏まえ、状況に応じて捕獲範囲を縮小するなどの対応を行う。

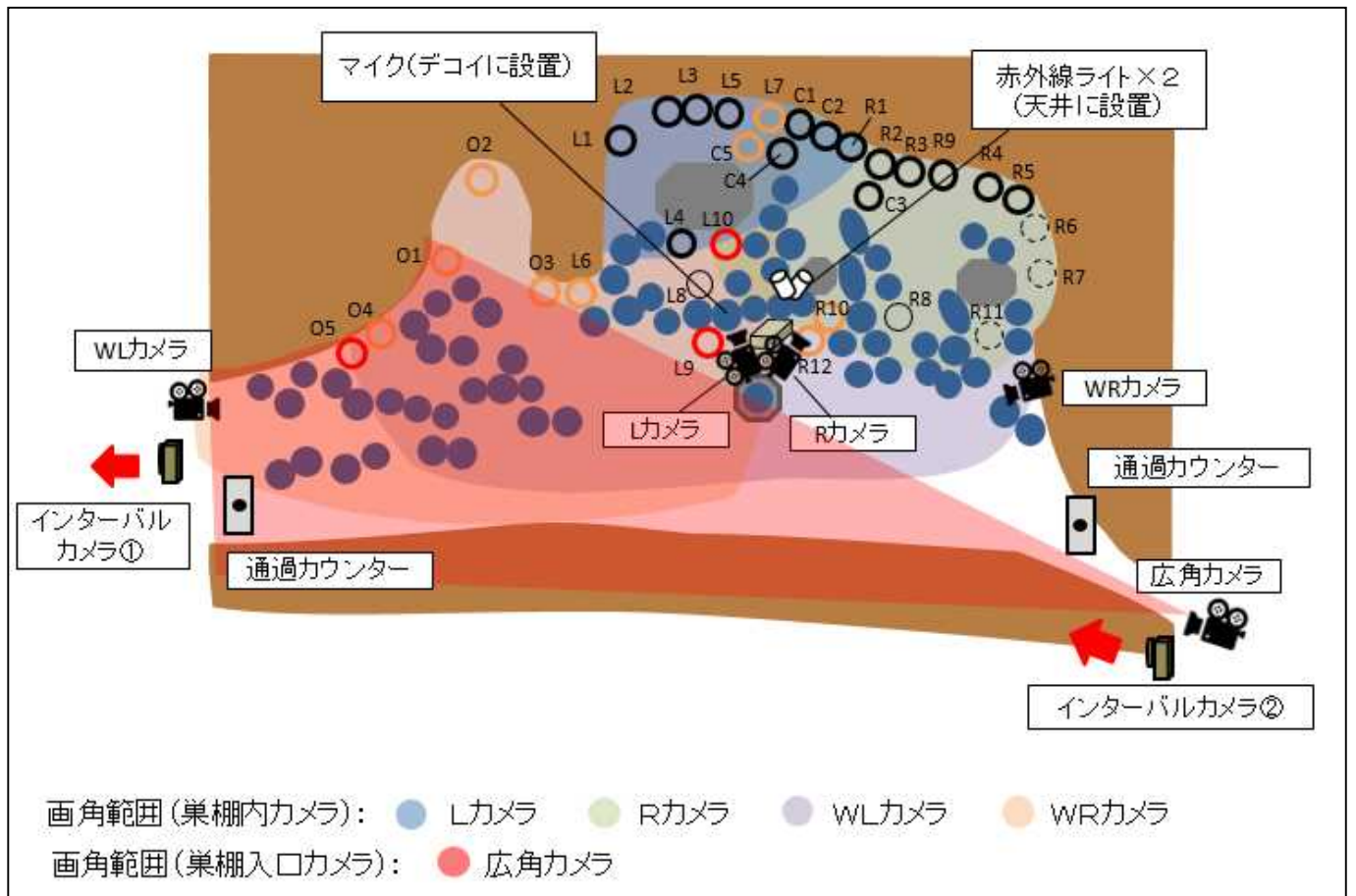
###### b) ハシブトガラス

ウミガラスに被害を及ぼす恐れのある海鳥繁殖地・ねぐら周辺の個体を捕獲する。





付図1. 赤岩対崖巣棚



付図2. 赤岩対崖巣棚内及び入口のカメラ及び関連機器の設置予定位置